

《京都》御所と離宮の葉(おり)

其の五



— 京都御所 —

せいりょうでん し し こまいぬ

清涼殿の獅子狛犬



みちようだい

神社仏閣などでよく目にする狛犬ですが、清涼殿御帳台の前にも、獅子と狛犬がいます。平安時代の頃から御帳前に置かれるのが例でした。木彫彩色の高さが約50cmのもので、向かって右が獅子とされ、口を開いており、向かって左の狛犬とされる方には角があります。台座は胡粉地に雲形文様があり、裏側に宝永5年(1708)8月調進と記されていますが、獅子狛犬本体は、それ以前の作のものと言われています。



この獅子狛犬は幾たびか修理が重ねられたと思われませんが、天保13年(1842)に修理されたときには、足の欠けた部分については、足が動いたことがあって切ったことがあったものなので、継ぐに及ばないとされたとの話があります。

なお獅子狛犬はこの他にも、いま飛香舎にある御帳台(明治天皇御即位に使用)の前にほぼ同じ大きさの木彫のものが置かれています。



Ⓔ マークは、御所・離宮の外側から、いつでもご覧になれます。

Ⓕ マークは、参観でご覧になれます。申込み方法は、[参観要領 - 京都御所 \(kunaicho.go.jp\)](http://kunaicho.go.jp) をご覧ください。

Ⓖ マークは、春と秋には申込みが必要のない一般公開の際にご覧になれます。下記にて日程等をご確認ください。参観要領 - 京都御所 (kunaicho.go.jp)

Ⓗ マークは、通常公開していない場所にあります。